

学校長あいさつ

沖縄県立森川特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は病弱・身体虚弱教育に特化した学校であり、昭和 59 年に隣接する独立行政法人国立病院機構沖縄病院に入院する小・中学生の学びの場としてスタートしました。

医療機関・家庭・関係機関等と密な連携のもと、児童生徒の心身の調和的発達を促し、力強くたくましく生きる意思や態度を養い、病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加出来る児童生徒の育成を目指しております。

平成元年度に高等部を設置、平成 10 年度に通学生の受け入れを開始、そして、平成 26 年度に心身症等の児童生徒の受け入れを開始するなど、時代とともに変遷してきた教育ニーズに応じて、歩みを進めてきました。

本校での通学生を対象とした学習活動と並び、県内 8 病院（県立北部病院・県立中部病院・中頭病院・琉球大学附属病院・那覇市立病院・こども医療センター・沖縄赤十字病院・沖縄協同病院）に病院内訪問学級を開設し、"療養しながら学ぶ場"として、入院している児童生徒の学習保障に努めています。

児童生徒個々の療養状況や発達段階を考慮しながら、児童生徒が意欲(知的好奇心)を持って学習活動に取り組む中で「学ぶ楽しさ」を知り、持続的に「主体的に生きる目標」を地域と共に見つけていくことを大切にしています。

校訓「明るく元気で ねばり強く 思いやりのある 児童生徒」

○よりよい自分を目指そうとする、心の明るさ元気さ

○目の前のやるべきことに向かっていける強さ

○人と関わろうとする意欲、関わる力

上記の校訓に込められた思いを大切に育みながら、これからも、時代の変化や児童生徒個々のニーズに応じた自立と社会参加を目指して、教育課程の実施と改善に向けて職員一同協働し、沖縄県の病弱・身体虚弱教育の充実と発展に向け、センター校としての役割を果たしていく所存です。

地域の皆様、関係者の皆様におかれましては、本校教育活動への温かいご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

令和 5 年 4 月

沖縄県立森川特別支援学校

校 長 岩崎 政志

